

豊見城市長に 予備免許報告

エフエムとよみ

【豊見城】県内九局目のコミュニティFM放送局となる「エフエムとよみ」の安慶名雅明代表らは二十一日、豊見城市役所を訪れ、金城豊明市長に十九日に総務省から受けた予備免許交付を報告した。



「エフエムとよみ」は、豊見城市の地域づくりを支援しようと、昨年九月から開局に向けて活動を開始。行政情報や台風などの災害情報、娯楽、商店などの商業案内、各種イベントPRなど市民にきめ細かい地域情報を提供する。周波数は八三・

金城豊明市長（右から2人目）に予備免許交付を報告した安慶名雅明代表（中央）ら
豊見城市役所

二メガ。二〇〇八年二月中旬の開局を目指す。

同市初のコミュニティ放送局に金城市長は「市民放送局の立場に立って、市民から愛される放送局になってほしい」と激励。安慶名代表は「ほかの地域とは違うパワーを感じる豊見城を応援したい」と述べ、同局アナウンサーの平田千春さんは「元気になるよね」と言ってくれるファンを一人でも多くつくりたい」と力を込めた。